

事業番号	13 01 01	事業改善シート(30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	電気事業	部局	企業局	課・室	電気事業課	
		実施期間	S33 ~	E-mail	kigyo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	再生可能エネルギー自給率					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大			
	4-1 県土の強靱化		4-5 地球環境への貢献			

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	水力発電所の出力増強等による自然エネルギーの地消地産の推進、大都市への電力販売、並びに将来を担う子どもへの支援など、経営戦略の着実な推進を図るとともに、県管理ダムを活用した新規発電所の建設や、県政の補完的立場からの新たな地域貢献、社会環境の変化への挑戦などに積極的に取り組む。		30年度 決算額	5,250,343 千円
			職員数	57.00 人
目指す姿	<p>○「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定)に基づき、水資源を有効に活用したクリーン電力の安定供給を行うとともに、新たな時代に挑戦する電気事業の礎を築く。</p> <p>< 高遠及び奥桐花第2発電所を除く14発電所 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な改修や出力増強による電力の安定供給・収益の確保、県内供給による自然エネルギーの地消地産の推進 <p>< 高遠及び奥桐花第2発電所 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 大都市への電力販売を契機とした、大都市との新たな交流を推進 <p>< 地域貢献 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 将来を担う子どもたちを支援する、長野県こどもの未来支援基金への繰出し <p>○さらに、新規発電所の建設、新たな地域貢献や、社会環境変化への挑戦等に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県管理ダム(横川・箕輪・片桐)を活用した新規発電所の建設 地方創生積立金の繰出しにより次代を担う子どもたちの教育環境整備を支援 全国高等学校総合文化祭のうち科学技術部門の大会運営を支援 ドローン活用による危機管理機動力強化 将来の事業可能性を見据え、企業局の電気と水を活用した水素エネルギーの利活用のあり方の研究を推進 働きやすく機動的な職場環境の整備(快適な執務スペースの確保、LED照明への切替、衝突防止機能付き車両への切替) <p>(主な実施内容: 電気の売電、発電所の改修や新規発電所の建設、電気事業利益を活用した地域貢献など)</p>			

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況										
					No	成果指標	29年度	30年度		達成状況					
コスト	予算額	前年度繰越	197,253	43,205	219,340	①	経常収支比率	159.9%	目標値		136.4%	152.7%	達成		
		当初予算	4,425,537	5,736,487	7,423,575				成果	1,386,259	達成				
		補正予算	-42,922	39,430					②	損益(千円)		1,496,548		1,028,948	1,386,259
		合計(A)	4,579,868	5,819,122	7,642,915										
	Aの財源	料金収入	3,962,141	3,862,418	3,756,561	③	企業局の電力量で賄える県内世帯数の割合	12.4%	12.5%	12.5%		達成			
		企業債	97,000	233,000	2,598,000				成果						
		その他(積立金等)	520,727	1,723,704	1,288,354				達成						
	ト	決算額(B)	4,273,087	5,250,343											
		概算人件費	職員数(人)	55.00	57.00	57.00									
概算人件費		概算人件費(C)	-	-	-										
	概算事業費(B(A)+C)	4,273,087	5,250,343	7,642,915											
備考					成果指標設定理由	長野県公営企業経営戦略(平成28年2月策定)に基づく指標①②:財政計画に基づき経常収支比率100%以上を維持し利益を確保、③:新規発電所の建設や既設発電所の出力増強による、自然エネルギーの更なる普及・拡大									

目標に対する成果の状況	年間を通した水量に恵まれたことから、経常収支比率、損益共に目標を達成した。 小浜第2発電所の出力増強工事により発電電力量が約700世帯分増加し、県内世帯数割合の目標を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	既設発電所の計画的な老朽化対策の推進、再生可能エネルギーの供給拡大のための新規電源開発の推進	改修期間中の減収等を考慮し、既設発電所の改修を計画的に進める。また、新規電源開発の可能性を調査し、経済性が確認された地点について建設を進める。これらにより生み出された利益の一部を活用し、積極的に地域貢献に取り組む。

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクトNo	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数(人)	平成30年度		令和元年度(当初)
					(当初)	(決算)	
1	3-2-7	電気事業	<ul style="list-style-type: none"> 県管理ダムを活用した新規3発電所建設 プロジェクトによる新規電源開発候補地点の選定、着手 西天竜発電所大規模改修 小浜第2発電所出力増強改修 企業局の水と電気を活用する水素ステーション整備 ドローンの導入及び施設点検等への活用 一般会計への繰出し(地方創生積立金、長野県こどもの未来支援積立金、省エネルギー推進支援積立金、総文祭長野大会支援) 	57.00	5,736,487	5,250,343	7,423,575
合計				57.00	5,736,487	5,250,343	7,423,575

